

令和5年度 神戸ゆかりの美術館事業点検評価の外部評価

【総括】

令和6年12月4日に開催された美術館協議会において、令和5年度の神戸ゆかりの美術館の事業点検評価を実施した結果、「展示内容、収集保管」、「研究、普及、啓発、連携等の活動」、「経営状況」、「施設整備」の全項目とも、5段階評価の4評価となった。

【外部評価委員からの意見】

・来館者数が一定評価できるが、「日展神戸展」が今年度で終わりにするのは惜しい。日展開催という大きなチャレンジ、大阪展とはまた違う良さがあった。六甲アイランド全体が活性化するようなことが今後とも、出来るとよい。

・前回の協議会の意見を取り入れ、SNS（インスタグラム、X）を開始し、投稿頻度が多い点は評価できる。若者の観覧者を増やすため、大学祭との連携などに努めていただきたい。

・小松益喜など、神戸の街並みを描いた絵画を鑑賞でき、それが「神戸ゆかりの美術館」の存在理由と思う。こうした展覧会と来館者数を見込める「さくらももこ展」のような展覧会とのバランスを考えて、美術館の質と経営が安定する道を探してほしい。

神戸ゆかりの美術館 事業評価総括表

評価項目	自己評価		外部評価
	個別評価 (担当者)	全体評価 (館としての評価)	
展示内容 収集保管	特別展「ながれ・い どる 墨の世界」は4 特別展「さくらもも こ展」は4 「第10回日展神戸展」 は4 常設展「画家との対 話」は3 収集・保管は4	4	4
研究、普及、啓発、連携等の 活動	研究は4 普及は2 啓発は4 連携は4	3	4
経営状況 (収支、入館者数)	特別展「墨の世界」は 2 特別展「さくらももこ」 は5 「第10回日展神戸展」 は3 常設展「画家との対 話」は2	4	4
施設整備	3	3	4